# 卒業によせて　～保護者の皆さまから～

3年1組　　高木聡子　　矢竹美加

ご卒業おめでとうございます。この3年間は本当に短く感じました。
振り返れば高校2年生からは、中高一貫生と高入生の混合クラスとなり当初は不安もありましたが、友だちが増え同じ目標に向かってより一層勉強に励むことができました。
体育祭や藍桐祭、部活動では協力して作り上げることの大切さを知り、ロードハイクでは最後までやり遂げることの達成感を味わえたことと思います。また修学旅行ではオックスフォード大学の寄宿舎に宿泊という貴重な経験をさせて頂きました。ハリーポッターの映画の舞台となった食堂で食事をしたことを帰国後詳しく話してくれました。
毎日楽しく学校に通えたのは、何事にも熱心な教職員の皆様や仲良くしてくださったお友だちのおかげです。これからも「noblesse oblige」の教えを胸に刻み新しい世界へ羽ばたいてほしいと願っています。
最後になりましたが、素晴らしい環境と教育方針を掲げた東京都市大学等々力高等学校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

3年2組　　柴田真由美

卒業生の皆様、卒業生保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、無事に卒業できましたことを、東京都市大学等々力中学校・高等学校教職員の皆様に心より御礼申し上げます。
多くの卒業生の皆様と同様に、学校で様々な経験を積むことで息子は一歩ずつ成長させていただきましたが、何よりも陸上部での活動はかけがえのないものとなりました。中学生の頃は高校生の先輩方に励まされていましたが、上級生になるにつれて、今度は自分が後輩のみなさんを励ます立場になっていきました。中高一貫校の良いところを、身をもって感じました。また、部長として、組織のリーダーになり皆をまとめるという機会を与えてくださったことも感謝しております。大きな自信を得られたようでした。
長いようであっという間の6年間でした。出会った全ての方々に心より深謝申し上げます。卒業生の皆様の更なる飛躍と一層のご活躍をお祈りしております。
そして最後となりますが、東京都市大学等々力中学校・高等学校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

3年3組　　細工洋子

新しい制服に身を包み、期待と不安で胸いっぱいの表情で迎えた入学式の日のことを今でもはっきりと思い出します。
高校生活で特に印象に残っているのは、英語を通して学ぶ機会に恵まれたことです。1年生の時のオーストラリア語学研修では、豊富なプログラムに加えてホストファミリーにも恵まれ、日本とは異なる文化に触れて、新鮮な驚きと共に学んだことが多かったようです。2年生の時の修学旅行はイギリス、しかもオックスフォードの学生寮に滞在する特別なプログラムで、現地の学生との交流もあり、語学や文化を学ぶだけではない貴重な体験をすることができました。
3年の月日、ノブレス・オブリージュの精神のもと、理想を高くもって努力し、充実した学校生活を送ることができたのは、たくさんの支えがあったからです。
励まし、指導してくださいました先生方、さまざまな場面で支援してくださいました学校職員のみなさま、いつも身近にいて寄り添ってくれていたお友達、多くの方にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

3年4組　　長澤恭子

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
6年間または3年間過ごした学校をいよいよ旅立つときがきましたね。
泣いたり笑ったり、時にはケンカをしたり。等々力で過ごした時間はみなさんにとってかけがえのない宝物のような時間だったと思います。春からはそれぞれ新しい道に進みますが、新しい生活を精一杯頑張ってほしいと思います。
子どもたちを優しく温かく見守ってくださった先生方にも感謝申し上げます。ありがとうございました。
保護者の皆様、入学したころより一回りも二回りも大きく立派になったお子様の門出をお喜びのことと思います。微力ながらお手伝いした文化祭やクラス委員の活動を通して保護者の皆様と出会えたことにも感謝しております。ありがとうございました。

3年5組　　木科美澄　　山崎文

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。
この東京都市大学等々力に入学して早6年。毎日があっという間に過ぎ、とても濃い6年だったと思います。
中1、念願の舞チア部に入部し、毎日楽しく和やかな部活生活を送りました。学校行事では生命のありがたみを再確認できるフィールドワーク、初めてのスポーツ大会、文化祭。毎日が新しく新鮮で有意義に学校生活を送りました。
中2、福島県のブリティッシュヒルズで様々な英語のアクティビティを体験しました。新しく後輩もでき部活では世界大会の代表にも選ばれさらに忙しくなりました。
中3、修学旅行では現地の方々のお話を聞き、命の大切さを改めて痛感しました。
高校生になってからは部活では大忙し。部活内の部員関係などや練習で毎日泣くほど当時部活のことを思っていました。
高2、イギリスの語学研修があり、文化祭では最高学年として煌びやかに活動していました。
高3、最後の学校行事、体育祭では黄色が総合優勝&応援優勝で盛り上がりました。
そんなこんなでもうこの桜の咲く季節。昨日まで中学生だったかのような、時が経つのはこんなに早いんだなと痛感しています。娘達はこんなに大変な学校生活を耐え抜き、立派に成長しました。悩みもあっただろうけど感無量です。
この6年間携わってくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。
改めまして皆さんご卒業おめでとうございます。

3年6組　　雨宮聖子

私が初めてこの学校を訪れたのは7年前の成人式の日でした。その年度、最終の中学受験のための保護者説明会で、関東平野部では珍しい朝からの雪模様。説明会が終わる頃には、かなりの積雪となり、駅に続く長い下り坂には立往生する車が列をなす光景。見ず知らずの方々と協力し車を押したのを覚えています。苦しくも自宅の最寄り駅では成人式の式典が行われており、駅に着いた新成人達に同情しながら家路を急ぎました。そんな印象的な日の説明会。しかし、不運な天気とは対照的に説明会の印象の良さを感じた日でもありました。
ご縁ありこの学校にお世話になる事となり、忙しくも充実した学校生活を送らせていただきました。入学式ではまだあどけない子供の顔をした我が子も逞しく少し大人に近づいた顔で卒業式を迎えました。この学校生活での様々な経験が成長させてくれたのでしょう。これも先生方のご指導、友人達との交友のおかげと心から感謝しております。ありがとうございました。
高校卒業を迎え、親としては1つの責任を果たし終えた安堵と多少の寂しさというのが本音です。しかし、卒業は同時に新たなスタートでもあります。この学校で培った経験を活かし、自分の夢に向かって様々な事にチャレンジし、自分を信じて堂々と歩んで自らの人生を切り開いて欲しいと切に願っております。

## 編集後記

卒業生ならびに保護者のみなさま、ご卒業おめでとうございます。
今回の卒業特集号をご覧いただき、学校生活や後援会の活動内容を振り返っていただければ幸いです。なお本誌を発行するにあたり、各方面からご協力を賜りました、厚くお礼申し上げます。

また、本年度より『後援会公式サイト』が立ち上がりました。後援会ホームページでは活動の様子はもとより会報誌の一部分も掲載されております。是非ご覧いただき、今後とも後援会活動にご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**表紙タイトル文字：佐野（元）教頭**
**表紙イラスト：樋口部長**

## 私が描きました！

今回の表紙イラストは、高３学年の先生方です。本校を巣立って次のステージへ進むみなさんを暖かくも力強く送り出す、そんな表情に見えると嬉しいです。

樋口部長

# 等々力だより

2019年
3月
162号

目次


副会長挨拶 …… 1
平成30年度各会活動報告 …… 1
藍桐祭反省会・収支報告 …… 2
行事報告 …… 3
（新年会・合唱コンクール・ロードハイク）
特集：卒業によせて …… 4~6、裏表紙



東京都市大学等々力中学校・高等学校 後援会